

公益財団法人 アイヌ民族文化財団とは…

当財団は、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発を図るための施策の推進のほか、民族共生象徴空間(愛称:ウポポイ)の運営を行っています。

多様な価値観が共生し、アイヌの人びとの民族としての誇りが尊重される共生社会の実現を図り、あわせて我が国の多様な文化の一層の発展に寄与するため、国内外においてさまざまな事業を実施しています。



公益財団法人 アイヌ民族文化財団

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7(5階)
TEL.(011)271-4171
FAX.(011)271-4181
e-mail:ainu@ff-ainu.or.jp
URL <https://www.ff-ainu.or.jp>



アイヌ文化交流センター

〒111-0041
東京都台東区元浅草3丁目7番1号
住友不動産上野御徒町ビル3階
TEL.(03)5830-7547
FAX.(03)5830-7548
e-mail:acc-tokyo@ff-ainu.or.jp



[非売品] 転売禁止

令和6年度 アイヌ語ラジオ講座

Ainu radio course

Vol.
4

1月 ▶ 3月

おかもと ともや

<講師> 岡本 朋也

STV ラジオ

毎週日曜日 朝7:00 ~ 7:15

<https://www.stv.jp/radio/ainugo/>



公益財団法人 アイヌ民族文化財団

はじめに

アイヌ語は、アイヌの人たちが話してきた独自の言語です。今でも私たちが普段から身近に触れているアイヌ語として「地名」があります。アイヌ語が由来とされる地名は、北海道をはじめ、サハリン(樺太)や千島列島、それに東北地方にも数多く残されています。地名の他にも「エトピリカ」「ラッコ」「ケイマフリ」など、アイヌ語由来として意識されずに使われている言葉が多くあります。

現在では、アイヌ語の話者は減少し、日常会話の言語として使われることが少なく、知っている単語も会話の中に稀に聞かれるだけです。それでも先祖から伝えられてきた言葉を残していこうと、地域においてさまざまな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」では、初心者向けのやさしいアイヌ語の講座をラジオで放送しております。多くの方々がアイヌ語に触れるきっかけとして、また、初級のアイヌ語を学習する機会として、平成10年よりさまざまな講師をお招きして開講しております。

令和6年度の講師は様似町にルーツがあり、平取町在住の岡本朋也さんをお迎えして、アイヌ語の「様似方言」を学んでいきます。

さあ、私たちと一緒に、アイヌ語の世界をのぞいてみませんか。

2024年4月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.4

目次

テキストは3ヶ月ごとに発行しています。

講師・支援研究者の紹介	p. 2
講座のスケジュール	p. 3
レッスン 40～52	p. 4
ポッドキャストのお知らせ	p.30
賛助会員募集	p.33

令和6年度

アイヌ語ラジオ講座

Ainu radio course

Vol.
4

1月 ▶ 3月

おかもと ともや

<講師> 岡本 朋也

講師・執筆者紹介



おか もと とも や
岡本 朋也

浦河町生まれ、様似のアイヌにルーツがある。

伝承者育成事業第5期修了生。

現在は平取町地域おこし協力隊アイヌ工芸支援員として、日々木彫りの技術を学んでいる。

2021年アイヌ語弁論大会イタカンロー 最優秀賞受賞。

2024年第57回北海道アイヌ伝統工芸展 最優秀賞(北海道知事賞)受賞。

協力者

はら だ けい すけ
原田 啓介

(株)平取町アイヌ文化振興公社勤務

札幌大学ウレシパクラブ第6期卒業生

平取町二風谷アイヌ語教室子どもの部所属

(支援研究者 なか がわ ひろし 中川 裕 千葉大学文学部名誉教授)

<このテキストのアイヌ語と表記の仕方について>

現在のところアイヌ語には共通的な表現はあるものの、それぞれの地域での言い方があります。そのため、このテキストでは担当講師の方言(様似方言)でのアイヌ語をご紹介します。

スケジュール

月	日	Lesson	テーマ	ページ
1月	5日	40	新年の挨拶表現	4
	12日	41	口承文芸①	6
	19日	42	口承文芸②	8
	26日	43	1月の復習	10
2月	2日	44	文を繋げる言葉①	12
	9日	45	文を繋げる言葉②	14
	16日	46	おまじないのはなし	16
	23日	47	2月の復習	18
3月	2日	48	様似のアイヌ料理のはなし①	20
	9日	49	様似のアイヌ料理のはなし②	22
	16日	50	特別回 ～熊谷カネさんをお呼びしました!～	24
	23日	51	3月の復習	26
	30日	52	お別れの表現	28



Lesson41

口承文芸①

今日の内容

今回のレッスンでは、岡本ユミさんが語り、中川先生が採録した「チャクチャクカムイのトゥイタク」の冒頭部分を紹介します。

サケヘ：チャクチャク（以下//で表します）

// テエタワノ	昔から
// ハウエアシアン カネ オカイアン アワ	私はチャクチャクと鳴きながら いたが
// コタンコロカムイ	村の守り神（シマフクロウ）が
// ヤイコチャランケ	1人で談判をしている
// ヤイコチャランケ ハウエ エネ アニ タブ	1人で談判している声が こう聞こえた。
// タン アンコロ コタン	「この私を守る村には、
// ユク カイ イサム	シカもおらず
// チェフ カイ イサム	魚もない。
// アイヌ ウタラ	人間たちは
// イペルスイワ	腹が減って
// ライワイサムナ	死んでしまうぞ。
// ネコン ポカイ カムイ ウタラ	なんとかして 神々に
// チェフ イキ エネ	魚であれ
// ユク イキ エネ	シカであれ
// コタン オッタ	村に
// オカイ ヤクン	いるように
// カラワイコレ ヤン	してくださいと
// ソンコ イェ クス オマン クン ペ アンコン ルスイナ	伝えるために 行ってくれるものが 欲しいな」と
// ハウキ カネ	言いながら
// クンネ エネ	夜も
// シリペケレ エネ	昼も
// ヤイコチャランケ カネ	1人で談判して
// アン ハウエ アンヌ クス	いる声を聞いたので

解説

アイヌの口承文芸にはいろいろなジャンルがありますが、その中で【トゥイタク / tuytak】というのは、カムイを主人公とした物語です。他の地域では【カムイユカラ / kamuyyukar】や【オйна / oyna】などと呼ばれます。今回のお話では【チャクチャクカムイ / cakcakkamuy】（ミソサザイ）という小鳥のカムイが主人公となって、自分の体験した物語を語ります。トゥイタクの特徴は、【サケヘ / sakehe】と呼ばれる言葉を繰り返しながら、その間に言葉を挟んで物語を進めていくことで、サケヘはお話ごとに違いますが、今回のこのお話ではチャクチャクというミソサザイの鳴き声がサケヘになっています。チャクチャクという出だしのひと言だけで、誰が主人公かわかってしまうわけですね。

物語の内容は、魚や鹿がいなくなって飢饉になった村を救うために、【コタンコロカムイ / kotankorkamuy】（シマフクロウ）が、天の国に知らせを伝えに行く雄弁な者を求めて、【ヤイコチャランケ / yaykocaranke】しているところから始まります。【チャランケ / caranke】というのはもめごとが起こった時に行われる裁判のようなもので、もめごとに関わる双方がお互いの主張を言葉で戦わせるものです。【ヤイコ / yayko-】というのはひとりということ、コタンコロカムイはひとりでそのチャランケをしていました。天の国にいる魚を下ろすカムイや、鹿を下ろすカムイに言おうと思うことをひとりで問答していたのです。

そこへ、「私は雄弁なので、天の国に伝言を伝えに行こう」と、コタンコロカムイの家の中に入ってきたものがいます。コタンコロカムイは伝言を語りますが、その雄弁を自慢するカムイはあまりの長さに耐えきれなくて、ひっくり返って逃げ出してしまいます。それを見ていたチャクチャクカムイは、われこそはと名乗り出て、その伝言を聞き終え、天の国に向かいます。そこで魚を下ろすカムイにこう言います。

「あなたたちは人間にお酒を捧げてもらい、お祈りをしてもらって、こうして暮しているのでしょう。その人間たちが飢饉でお腹を空かせて、今にも死にそうになっていることを、あなたたちは気がつかないのですか？」

そういって、魚を下ろすカムイは、「なんとまあ、ちょっとうっかりしていたら、こんなことになっていたとは」と言って、魚の頭や尻尾や皮を、なにやら言いながら地上にばらまきます。すると、川の中に魚があふれかえります。

次に鹿を下ろすカムイのところへ行行って同じことを言うと、鹿を下ろすカムイもあわてて、鹿の尻尾や足などを地上にばらまきます。すると、山の中を鹿が走り回ります。それを見て安心したチャクチャクカムイが、コタンコロカムイのところに戻って報告すると、「お前は本当の勇者だ」と言って、大変に誉められたというお話です。

これと似た内容のものとして、知里幸恵『アイヌ神謡集』に「梟の神が自ら歌った謡 コンクワ」という話があります。ここでは、人間が鮭や鹿をぞんざいに扱ったので、カムイたちが怒って鮭などを下ろさなくなったということになっていますが、このチャクチャクカムイの話では、カムイたちのほうがうっかりしていて、魚や鹿を地上に下ろすことを忘れていたということで、もっと人間っぽい感じがしますね。

こんなふうに、カムイの視点からカムイたちがどんなものなのかを教えてくれるのが、このトゥイタクというジャンルなのです。

コラム ～岡本ユミの口承文芸～

私の曾祖母である、岡本ユミさんは、口承文芸の名人だったそうです。確かに、音声を聞いていても、誰にも真似できないような節回しやリズムがあります。いつかこんなふうにかっこよく語ることができたらと思います。



Lesson42

口承文芸②

今日の内容

今回は岡本ユミさんが語った【ヤイエラフ / yayerap】の冒頭部分を紹介します。これは北海道大学の佐藤知己先生が録音したもので、1992年に静内町教育委員会から刊行された『静内地方の伝承Ⅱ』に「参考」として掲載されたものを、引用させていただきました。その佐藤先生の録音をお聞かせします。

ネコン イキワ	どうして
シクッ アウ ワンベ	成長したもので
アンネ イネ	私はあって
チオルクシテコ	こんなところに
アトゥイソ カタ	海の上で
モムモムアン カネ	流れ流れて
オカアン マ アンコヤイヌバ	いて、ふと目が覚めた

アヨーオーオロルペー
アヨーオーオロルペー
アヨーオーオロルペー

ネコン ネ イキワ	どうして
シクッ アウ ワンベ	成長したもので
イバンネ キ テク	こうして
タン ヌブル アトゥイ	こんな大きな海
アトゥイソ カタ	海の上で
モムモムアン カネ	流れ流れて
オカヤン キワ	いて
アコヤイヌバ	ふと目が覚めた
ヤイヌヤン フミ	私が考えたのは
エネ アン コリ	こうだった
ネコン ネ イキワ	どうして
シクッ アウ ワンベ	成長したもので
イバンネ キ テク	こうして
エ クンネ エネ	夜も
シリペケレ エネ	昼も

解説

【ヤイエラフ / yayerap】というのは、英雄叙事詩のことで、他の地域では【ユカラ / yukar】や【サコロペ / sakorpe】などと呼ばれます。ユカラやサコロペの記録や録音は数多くありますが、様似地方のヤイエラフの記録は非常に数が少なく、大変貴重なものです。様似地方の口承文芸としては、このヤイエラフや前回紹介した【トゥイタク / tuytak】（神謡）の他にも、【イソイタッキ / isoitakki】（散文説話）があります。他の地方では【ウエペケレ / uepeker】や、様似地方の神謡と同じ名前で【トゥイタク / tuytak】と呼ばれたりします。

今回の物語は、主人公の【オタストウンクル / Otasutunkur】の体験として語られていきます。オタストウンクルは【オタスツ / Otasut】の人という意味で、様似を含め、北海道の東部地域では広くいろいろな物語の主人公として登場する人物です。岡本ユミさんはこのオタスツのことを小樽のことだと考えていたようです。

主人公オタストウンクルはふと気がつくとき海原の上を流されていました。自分の体を見ると長い間海をただよっていたので目がくっついていました。そしてある日【シラルポンチャチャ / sirar pon caca】（磯の小さなジジイ）のいる磯に流れ着きました。シラルポンチャチャは「どうして俺の家の前にいるのか。どこかに行ってしまう。」とオタストウンクルを罵ります。

そうしてまた流れていくと、1人の若い女がオタストウンクルを陸に上げてくれます。その女はオタストウンクルの実の姉であり、両親は殺されてしまったのだが、その後でシラルポンチャチャが家にやってきて、自分をさらっていったのだと伝えます。そして彼女の願いで、オタストウンクルをここに呼び寄せたのだと言います。

姉の話では、両親は和人の村に交易に行き、父親はそこで毒を飲まされて殺されてしまったのですが、母親が舟で戻ってくる時に時化にあって、もう駄目だという時にオタストウンクルを舟の中で産み落としたのだそうです。そこでカムイたちに祈ってオタストウンクルを海へ流しました。それを知って姉は彼を招き寄せたのでした。

オタストウンクルは姉に貝殻をむしり取ってもらい、立派な身支度をさせてもらって、また海の上をシラルポンチャチャのいる磯まで流れて行って、シラルポンチャチャを倒しました。それから姉の言ったとおりに山の上に行くと、大きな村があって、村長の家で村人が集まって礼拝していました。そこで蛇に化けて、窓から入って主人の体に巻きつきました。すると、「尊いカムイが我らのために来て下さったのか」などと、主人が言うので、人間の姿に戻って桶の中の酒を飲み干すと、その桶を放り投げて、「よくも両親を殺したな」と言いながら刀を振り回し、家の中でめちゃくちゃに暴れまくりました。

村人たちが死んだり逃げたりしてしまったりしていなくなった後、姉に連れられて自分たちの家だったところにやってきて、生い茂っていた草をむしり、元通りの家にしました。そこで姉と暮らしていましたが、どこからか若い男がやってきて姉と一緒にいたので、別に家を建てて、そこで暮らしたということです。

こんなふうに両親無しで育った少年が、親のいないわけを知り、かたきをうつという話は、他の地方の英雄叙事詩にもたくさん出てきます。カムイが主人公のトゥイタクとは全然違う雰囲気の話であることが、よくわかりますね。

コラム ～アイヌ語弁論大会・イタカンロー～

アイヌ語弁論大会イタカンローが毎年開催されています。

私も3回出場しました。人前でアイヌ語を披露するのはとても緊張しますが、いい経験になります。イタカンローでは、今回紹介した物語を披露しました。アイヌ民族文化財団のYouTubeでイタカンローの発表が見られるので、是非ご覧ください。



Lesson43

1月の復習

Lesson40 新年の挨拶表現の例文

- | | |
|---|---------------------------|
| ① アシリパ アンウク ワ オンカムイアン ナ。
asirpa an=uk wa onkamuy=an na. | 新年を迎えて、
拝礼しましょう。 |
| ② アシリパ エウク ワ ネブ エキ ルスイ？
asirpa e=uk wa nep e=ki rusuy? | 新年を迎えて、
あなたは何したい？ |
| ③ タンパ アナクネ ケラン アエブ ポロンノ クエ ルスイ。
tanpa anakne keran aep poronno ku=e rusuy. | 今年は、美味しい食べ物を
たくさん食べたい。 |
| ④ ピリカ ハウエ ネ。
pirka hawe ne. | いいですね。 |

Lesson40 新年の挨拶表現の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
アシリパ	asirpa 新年
アン	an= 私たち(が、の)
ウク	uk ~を取る(他動詞)
ワ	wa ~して
オンカムイ	onkamuy 拝礼する(自動詞)
アン	=an 私たち(が、の)
ナ	na ~ぞ、~よ
エ	e= あなた、君、お前(が、の)
ネブ	nep 何
キ	ki ~をする(他動詞)
ルスイ	rusuy ~したい
タンパ	tanpa 今年
アナクネ	anakne ~は
ケラン	keran 美味しい(自動詞)
アエブ	aep 食べ物
ポロンノ	poronno たくさん
ク	ku= 私(が、の)
エ	e ~を食べる(他動詞)
ピリカ	pirka 良い(自動詞)
ハウエ ネ	hawe ne 誰かの言葉を受けて、「~(である)ことだ」

Lesson41 口承文芸①の復習

岡本ユミさんが語り、中川先生が採録した「チャクチャクカムイのトゥイタク」の冒頭部分を紹介しました。

これと似た内容のものとして、知里幸恵『アイヌ神謡集』に「梟の神が自ら歌った謡 コンクワ」という話があります。そこでは、人間が鮭や鹿をぞんざいに扱ったので、カムイたちが怒って鮭などを下ろさなくなったということになっていますが、このチャクチャクカムイの話では、カムイたちのほうがうっかりしていて、魚や鹿を地上に下ろすことを忘れていたということで、もっと人間のような感じがするお話でしたね。

Lesson42 口承文芸②の復習

岡本ユミさんが語った【ヤイエラフ / yayerap】の冒頭部分を紹介しました。これは北海道大学の佐藤知己先生が録音したもので、1992年に静内町教育委員会から刊行された『静内地方の伝承Ⅱ』に「参考」として掲載されたものを、引用させていただき、その佐藤先生の録音を聞きましたね。

【ヤイエラフ / yayerap】というのは、英雄叙事詩のことで、他の地域では【ユカラ / yukar】や【サコロペ / sakorpe】などと呼ばれます。ユカラやサコロペの記録や録音は数多くありますが、様似地方のヤイエラフの記録は非常に数が少なく、大変貴重なものです。様似地方の口承文芸としては、このヤイエラフや前回紹介した【トゥイタク / tuytak】(神謡)の他にも、【イソイタッキ / isoitakki】(散文説話)があります。





Lesson44

文を繋げる言葉①

今日の例文

- ① アチャ アンミフ アニ ワ ソイネ。
aca anmip ani wa soyne. 父は着物を持って外に出た。
- ② クホプニ ワ クイペ ワ クソイネ。
ku=hopuni wa ku=ipe wa ku=soyne. 私は起きてご飯を食べて外に出た。
- ③ フチ コンプシト カラ カネ アン。
huci konpusito kar kane an. おばあさんは昆布シトを作っている。
- ④ クイタク カネ クアン。
ku=itak kane ku=an. 私は話している。

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
アチャ	aca	父
アンミフ	anmip	着物
アニ	ani	～を持つ (他動詞)
ワ	wa	～して (接続助詞)
ソイネ	soyne	外に出る (自動詞)
ク	ku=	私 (が、の)
ホプニ	hopuni	起きる (自動詞)
イペ	ipe	食事する (自動詞)
フチ	huci	おばあさん
コンプシト	konpusito	昆布シト (昆布のたれをまぶした団子)
カラ	kar	～を作る (他動詞)
カネ	kane	～して、～しながら (接続助詞)
アン	an	いる、ある (自動詞)
イタク	itak	話す (自動詞)

解説

今回のレッスンでは、【ワ / wa】(～して) と、【カネ / kane】(～して、～しながら) という言葉を紹介します。

アイヌ語は動詞と動詞を直接並べることはできません。例えば「私は起きて食事する」と言いたい時は、【クホプニ クイペ / ku=hopuni ku=ipe】だけだと「私起きる 私食事する」と少し変な形になってしまいます。そこで動詞と動詞の間にはワなどの「接続助詞」を入れるときちんとした文章になります。

接続助詞はたくさん種類がありますが、今回は(～して)と訳される二つの単語をメインに紹介します。

ワは、時間的な前後関係を表す場合に使われます。例えば、①の「父は着物を持って外に出る」のように、「着物を持つ」という動作の後に「外に出る」という動作が行われています。このような時間の前後関係がある場合はワが使われます。

同じように、②では「起きる」「ご飯を食べる」「外に出る」が、この順番で行われていますので、ワで次々つないでいくことで、それを示すことができます。

注意が必要なのは、日本語では「私は起きてご飯を食べて外に出た」のように、「私」は一回言えばすみませんが、アイヌ語では【クホプニ ワ クイペ ワ クソイネ / ku=hopuni wa ku=ipe wa ku=soyne】のように、全部の動詞の前に【ク / ku=】(私が)という人称接辞をつけておかなければならないことです。もし、日本語に合わせて【クホプニ ワ イペ ワ ソイネ / ku=hopuni wa ipe wa soyne】と言ったら、起きたのは私ですが、ご飯を食べて外に出たのは他の人のことになってしまいます。つまりクのような「人称接辞」をつけないと、3人称と解釈され、「彼」とか「彼女」がやったことになってしまうので、省略することはできないのです。

ワに対してカネは、同時的な関係を表す場合に使われます。③では【フチ / huci】(おばあさん)は、【コンプシト / konpusito】(昆布シト)を【カラ カネ アン / kar kane an】(作っています)。この時、作った後でそこにいるわけではなく、作るのといるのは同時ですね。このような時にはワではなくカネで前後をつなぎます。

④の【クイタク カネ クアン / ku=itak kane ku=an】(私は話している)も、話すのもいるのも同時に行われていますね。このような場合はカネを使います。そして、この場合でもクは【イタク / itak】(話す)の前にも【アン / an】(いる)の前にも必要です。【クイタク カネ アン / ku=itak kane an】とは言えません。そう言ったら、話すのといるのは別の人になってしまいます。

なお、③のコンプシトは、アイヌ民族文化財団の「アイヌ語動画講座」に、熊谷カネさんと私が作っている動画が上がっていますので、ご覧になってください。



コラム ～キムンカムイポフライェ(2月に降る雨)～

2月の初め頃に降る雨のことを、「キムンカムイ」(熊)「ポ」(子ども)「フライェ」(～を洗う)「ナ」(もの)と言います。

熊はこの時期に子どもを産みます。そして、この雨が降ることによって、「ウカ」(堅雪)となるため、人間はかんじきを履きながら、山奥まで狩に行くことが出来るようになると言われております。



Lesson45

文を繋げる言葉②

今日の例文

- ① ニナアン クス パイエアン ノ！
nina=an kusu paye=an no! 薪をとるために行きましょう！
- ② クモンライケ クス クシンキ。
ku=monrayke kusu ku=sinki. 私は働いたので疲れた。
- ③ タント ウパシ アシ コロカイ シリポプケ。
tanto upas as korkay sirpopke. 今日は雪が降っているけれど暖かい。
- ④ イテセ カネ アン コロカイ、イウトゥルフ
ハンケ ナ。 itese kane an korkay, iuturuhu hanke na. ござ編みをしているけれど、目が細かいな。

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ニナ	nina	薪とりをする(自動詞)
アン	=an	私たち(が、の)
クス	kusu	～するために、～なので(接続助詞)
パイエ	paye	行く(自動詞)
ノ	no	しよう
ク	ku=	私(が、の)
モンライケ	monrayke	働く(自動詞)
シンキ	sinki	疲れる(自動詞)
タント	tanto	今日
ウパシ	upas	雪
アシ	as	降る(自動詞)
コロカイ	korkay	けれど、だが(接続助詞)
シリポプケ	sirpopke	暖かい(完全動詞)
イテセ	itese	ござ編みする(自動詞)
カネ	kane	～ながら
アン	an	いる、ある(自動詞)
イウトゥルフ	iuturuhu	ものの間=(ござの)目
ハンケ	hanke	近い(自動詞)
ナ	na	よ、ぞ

解説

今回のレッスンでは、前回に引き続いて接続助詞を二つ紹介します。【クス / kusu】(～するために、～なので) と、【コロカイ / korkay】(～けれど、だが) です。

「クス」(～するために、～なので) は、目的や原因を表わす時に使われます。①の【ニナアン クス パイエアン ノ / nina=an kusu paye=an no】(薪とりをするために行こう) のように、～をするために…という文でクスを用います。【ニナ / nina】(薪とりをする) の所を別の単語に変えると「〇〇するために行きましょう」という文章がすぐ出来ますね。

一方、②の【クモンライケ クス クシンキ / ku=monrayke kusu ku=sinki】は同じような表現ですが、「私は働くために疲れた」と訳すと、ちょっと変ですね。「私は働いたために疲れた」なら理解できます。このようにアイヌ語では「～する」と「～した」の区別が無いので、クスで結ばれたふたつの動作の前後関係は、それだけではわかりません。①のニナと【パイエ / paye】(行く) では、行ってから薪をとるわけですから、パイエが先でニナが後。この場合はクスは「～するために」という目的の意味になります。②の【モンライケ / monrayke】(働く) と【シンキ / sinki】(疲れる) の場合は、働いてから疲れるわけですから、モンライケが先でシンキが後。この場合はクスは「～なので」という原因の意味になります。

そして、前回の【ワ / wa】(～して) と【カネ / kane】(～しながら) の時にも言いましたが、①ではニナとパイエの両方に【アン / =an】(私たちが) という人称接辞がついていて、②ではモンライケとシンキの両方に【ク / ku=】(私が) という人称接辞がついていることに注意してください。日本語のように最初に一言言えばよいということにはなりません。

【コロカイ / korkay】(～けれど、～だが) は、③の【ウパシ アシ / upas as】(雪が降っている) と【シリポプケ / sirpopke】(暖かい) のように、意味的に逆の状況になっている文をつなぐ接続助詞です。

④の【イテセ カネ アン コロカイ、イウトゥルフ ハンケ ナ / itese kane an korkay, iuturuhu hanke na】は誰かがござ編みをしているのを見ている人の発言で、ござを編んではいるんだけど、通常より目が細かいという気持ちをコロカイで表した表現です。なお、【イウトゥルフ / iuturuhu】というのは直訳すると「ものの間」ということで、ござの一本一本のガマとガマの間隙のことを指しています。【ハンケ / hanke】はそれが「近い」ということで、目が詰まっている、目が細かいということを表しています。



コラム ～シタ(犬)について～

シタ(犬)はアイヌにとって重要な動物で、狩りの際も一緒に山に行き、クマに立ち向かっていく勇気ある動物です。

余談ですが、昔は外で犬を飼うことが多かったですが、今はあまり外犬を見かけません。最近クマが人間の住処に現れるのも外犬が減ったせいとクマのテリトリーが広がったためと言われています。

実は僕も犬を飼っていたことがありますが、追っかけられた思い出がありちょっと苦手です(笑)



Lesson47

2月の復習

Lesson44 文を繋げる言葉①の例文

- ① アチャ アンミフ アニ ワ ソイネ。 父は着物を持って外に出た。
aca anmip ani wa soyne.
- ② クホプニ ワ クイペ ワ クソイネ。 私は起きてご飯を食べて外に出た。
ku=hopuni wa ku=ipe wa ku=soyne.
- ③ フチ コンブシト カラ カネ アン。 おばあさんは昆布シトを作っている。
huci konpusito kar kane an.
- ④ クイタク カネ クアン。 私は話している。
ku=itak kane ku=an.

Lesson45 文を繋げる言葉②の例文

- ① ニナアン クス パイエアン ノ！ 薪をとるために行きましょう！
nina=an kusu paye=an no!
- ② クモンライケ クス クシンキ。 私は働いたので疲れた。
ku=monrayke kusu ku=sinki.
- ③ タント ウパシ アシ コロカイ シリポプケ。 今日は雪が降っているけれど暖かい。
tanto upas as korkay sirpopke.
- ④ イテセ カネ アン コロカイ、イウトウルフ ハンケ ナ。 ござ編みをしているけれど、目が細かいな。
itese kane an korkay, iuturuahu hanke na.

Lesson46 おまじないのはなしの例文

- ① シリシモイエ アン コ 地震があると
sirsimoye an ko
- ② コマンザラ コマンザラ アリ アンイエフネ。 コマンザラ コマンザラ ari an=ye p ne. コマンザラ、コマンザラというものだよ。
- ③ レラ アシ コ 風が吹くと
rera as ko
- ④ イヨクペ アンアシ フネ。 鎌を立たせるものです。
iyokpe an=asi p ne.

Lesson44 文を繋げる言葉①の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
アチャ	aca	父
アンミフ	anmip	着物
アニ	ani	～を持つ (他動詞)
ワ	wa	～して (接続助詞)
ソイネ	soyne	外に出る (自動詞)
ク	ku=	私 (が、の)
ホプニ	hopuni	起きる (自動詞)
イペ	ipe	食事する (自動詞)
フチ	huci	おばあさん
コンブシト	konpusito	昆布シト (昆布のたれをまぶした団子)
カラ	kar	～を作る (他動詞)
カネ	kane	～して、～しながら (接続助詞)
アン	an	いる、ある (自動詞)
イタク	itak	話す (自動詞)

Lesson45 文を繋げる言葉②の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
ニナ	nina	アシ	as
アン	=an	コロカイ	korkay
クス	kusu	シリポプケ	sirpopke
パイエ	paye	イテセ	itese
ノ	no	カネ	kane
ク	ku=	アン	an
モンライケ	monrayke	イウトウルフ	iuturuahu
シンキ	sinki	ハンケ	hanke
タント	tanto	ナ	na
ウパシ	upas		

Lesson46 おまじないのはなしの単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
シリシモイエ	sirsimoye	フ	p
アン	an	ネ	ne
コ	ko	レラ	rera
アリ	ari	アシ	as
アン	an=	イヨクペ	iyokpe
イエ	ye	アシ	asi



Lesson48

様似のアイヌ料理のはなし①

今日の例文

- ① チタatap アンカン ノー。 チタatapを作りますよ。
citatap an=kan no.
- ② カカウエヘ イキ エネ ウピヒ イキ エネ 鮭の氷頭と白子と昆布とを
コンプ イキ エネ kakawehe iki ene upihi iki ene konpu iki ene
- ③ アンタタ ワ シッポ アンオマレ。 刻んで塩を入れます。
an=tata wa sippo an=omare
- ④ イペアン ノー。 いただきます。
ipe=an no.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
チタatap	citatap	刻んだもの(料理名)
アン	an=	私たち、一般的にみんな(が、の)
カラ	kar	～を作る(他動詞)
ノ	no	～しよう
カカウエヘ	kakawehe	氷頭(ひず: 鮭の頭の軟骨の部分)
イキ エネ	iki ene	～と、～も
ウピヒ	upihi	白子
コンプ	konpu	昆布
タタ	tata	～を刻む(他動詞)
ワ	wa	～して
シッポ	sippo	塩
オマレ	omare	～を～に入れる(複他動詞)
イペ	ipe	食事する
アン	=an	私たち(が、の)

解説

今回は、様似のアイヌ料理について紹介します。

ゴールデンカムイでも特に有名になった【チタatap / citatap】は【チ / ci=】(私たちが)【タタ / tata】(～を刻む)【ワ / p】(もの) と言う意味です。

②の【カカウエヘ イキ エネ ウピヒ イキ エネ コンプ イキ エネ / kakawehe iki ene upihi iki ene konpu iki ene】(鮭の氷頭と白子と昆布とを) ということでは、【イキ エネ / iki ene】という言葉を使って、名詞を並べています。このイキ エネというのは、他の方言では見ない形で、様似方言独特の表現かもしれません。Lesson 41でお聞かせした岡本ユミさんの【トゥイタク / tuytak】にも、【チェフ イキ エネ、ユク イキ エネ、コタン オッタ、オカイ ヤクン / cep iki ene, yuk iki ene, kotan or ta, okay yakun】(魚であれ、シカであれ、村に、いるように) ということ所で出てきます。

①の【チタatap アンカン ノー / citatap an=kar no】(チタatapを作りますよ) と、③の【アンタタ ワ シッポ アンオマレ / an=tata wa sippo an=omare】(刻んで塩を入れます) には、どちらも【アン / an=】という人称接辞が出てきますが、使い方がちょっと違います。チタatap アンカン ノーのアンは「私もあなたも」という「話し相手を含んだ私たち」を表わすアンです。それに対して、アンタタ ワ シッポ アンオマレは「私もあなたも刻んで塩を入れる」という意味ではなくて、「(チタatapを作る時には) 一般的にそうする」という意味の、Lesson46にも出てきた不定人称という用法です。ただLesson16でも説明したように、このふたつの用法の間にはいつでもはっきりと線が引けるわけではなく、元はひとつの同じ意味かもしれません。

チタatapは地域によって多少作り方は違いますが、様似では、【カカウエヘ / kakawehe】(氷頭)【ウピヒ / upihi】(白子) それからネギと塩を入れて、焼いた昆布も入れます。様似と浦河では昆布を入れますが、他のところでは入れないようです。鮭のえらやひれや尻尾を入れるところもありますが、肉の部分は入れません。チタatapは生で食べるものですが、鮭の身の部分には寄生虫がいることがあるので入れないのです。そういうことも昔の人はよくわかっていて、無駄なくすべての部分が食べられるように、こういう料理法ができたのだと思います。

コラム ～ラタシケナ～

アイヌ料理の「ラタシケナ(混ぜ煮)」という意味で、材料は、かぼちゃ、金時豆、シケレペ(キハダの実)、キミ(トウモロコシ)、米粉、シッポ(塩)で作ります。

素材の甘みとシケレペ(キハダの実)のピリッとしたアクセントがとても美味しいです。チタatapとラタシケナの作り方は、アイヌ民族文化財団のYouTubeに載っています。

是非ご覧ください。



Lesson49

様似のアイヌ料理のはなし②

今日の例文

- | | |
|--|----------------------|
| ① ヤマウ アナクネ ヤム オハウ ネ。
yamaw anakne yam ohaw ne. | ヤマウは冷たい汁物です。 |
| ② コンプ アンスイエ ワルリヒ ヤム パクノ
アンアマ。
konpu an=suye wa rurihi yam pakno an=ama. | コンプを煮て汁が冷たくなるまで置きます。 |
| ③ イキア ルル オッタ ウォコム カイ
サッチェフ カイ アンオマレ。
ikia rur or ta wokom kay satcep kay an=omare. | その汁にワカメも干し魚も入れます。 |
| ④ シippo ポンノ アンオマレワ アンエ コケラン ペネ。
sippo ponno an=omare wa an=e ko keran pe ne. | 塩を少し入れて食べるとおいしいものです。 |

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	
ヤマウ	yamaw	冷製汁物
アナクネ	anak	は
ヤム	yam	冷たい (自動詞)
オハウ	ohaw	汁物
ネ	ne	~である (他動詞)
コンプ	konpu	昆布
アン	an=	一般的にみんなが
スイエ	suye	~を煮る (他動詞)
ワ	wa	~して
ルリヒ	rurihi	~の汁
パクノ	pakno	~まで
アマ	ama	~を置く (他動詞)
イキア	ikia	その
ルル	rur	汁
オッタ	otta < or ta	~ (の中) に
ウォコム	wokom	ワカメ
カイ	kay	も
サッチェフ	satcep	干し魚
シippo	sippo	塩

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	
ポンノ	ponno	少し
エ	e	~を食べる (他動詞)
コ	ko	~すると
ケラン	keran	おいしい (自動詞)
ペ	pe	もの

解説

今回は、【ヤマウ / yamaw】という料理を紹介します。実際の作り方はアイヌ民族文化財団のアイヌ語動画講座で、熊谷カネさんと私が実演していますので、それをご覧ください。

ヤマウはまず日高海岸名物の【コンプ / konpu】(昆布)でだしをとるところから始めます。昆布を引き上げて、汁を冷ましたところへ、【ウォコム / wokom】(ワカメ)を入れ、【サッチェフ / satcep】(干した魚)をひと口サイズに裂いて入れます。干した魚は棒タラが一番良いのですが、売ってなければおつまみのタラを入れることもあるそうです。また、岡本ユミさんはアブラガレイという魚が美味しいのだと言っていたそうです。

そのまましばらく置いたところで、細かく刻んだネギを入れ、少量の【シippo / sippo】(塩)と【スム / sum】(油)で味をととのえます。スムは昔はタラの油を使ったそうですが、熊谷さんは【コンプシト / konpusito】(昆布だれの団子)を作る時に昆布を揚げた油を使うそうです。

例文では以上のような手順をちょっと簡略化してアイヌ語にしてみました。お汁のことは③に出てくる【ルル / rur】という言葉で表しますが、②に出てくる【ルリヒ / rurihi】はLesson22で説明した、その所属形という形で、「~の汁」を表します。ここではコンプのだしをとったものの汁という意味で使っています。

③の【イキア ルル / ikia rur】(その汁)の【イキア / ikia】は「その、例の」というような意味ですが、北海道の東のほうでよく使われる言葉で、西の方では【ネア / nea】という言い方を使うことが多いようです。【スイエ / suye】(~を煮る)とか【アマ / ama】(~を置く)とか【オマレ / omare】(~に~を入れる)とか【エ / e】(~を食べる)とかの前に、全部【アン / an=】がついている理由は、もうおわかりですね。

③の【ウォコム カイ サッチェフ カイ / wokom kay satcep kay】(ワカメも干し魚も)の【カイ / kay】というのは、名詞を並べて示す時の「も」にあたる言葉ですが、これも東のほうの言い方で、西では【カ / ka】と言います。Lesson48に出てきた【イキ エネ / iki ene】を使って、【ウォコム イキ エネ サッチェフ イキ エネ / wokom iki ene satcep iki ene】と言っても、同じ意味になります。



コラム ~ヤマウ~

ヤマウとは、「ヤム(冷たい) オハウ(汁物)」の意味です。他の地域では、ほとんどが温かいオハウです。しかし様似、浦河ではこのヤマウをよく食べます。冷たいので食べづらいと思うかもしれませんが、そんなことはありません。昆布の出汁やネギの甘みでとても食べやすいです。



Lesson51

3月の復習

Lesson48 類似のアイヌ料理のはなし①の例文

- チタatap アンカン ノー。 チタatapを作りますよ。
citatap an=kan no.
- カカウエヘ イキ エネ ウピヒ イキ エネ 鮭の氷頭と白子と昆布とを
コンプ イキ エネ kakawehe iki ene upihi iki ene konpu iki ene
- アントタ ワ シippo アンオマレ。 刻んで塩を入れます。
an=tata wa sippo an=omare
- イペアン ノー。 いただきます。
ipe=an no.

Lesson49 類似のアイヌ料理のはなし②の例文

- ヤマウ アナクネ ヤム オハウ ネ。 ヤマウは冷たい汁物です。
yamaw anakne yam ohaw ne.
- コンプ アンスイエ ワルリヒ ヤム パクノ コンプを煮て汁が冷たくなる
アンアマ。 まで置きます。
konpu an=suye wa rurihi yam pakno an=ama.
- イキア ルル オッタ ウオコム カイ その汁にワカメも干し魚も入
サッチェブ カイ アンオマレ。 れます。
ikia rur or ta wokom kay satcep kay an=omare.
- シippo ポンノ アンオマレ ワ アンエ コケラン ペネ。 塩を少し入れて食べるとおい
sippo ponno an=omare wa an=e ko keran pe ne. しいものです。

Lesson48 類似のアイヌ料理のはなし①の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	
チタatap	citatap	刻んだもの (料理名)
アン	an=	私たち、一般的にみんな (が、の)
カラ	kar	～を作る (他動詞)
ノ	no	～しよう
カカウエヘ	kakawehe	氷頭 (ひず：鮭の頭の軟骨の部分)
イキ エネ	iki ene	～と、～も

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	
ウピヒ	upihi	白子
コンプ	konpu	昆布
タタ	tata	～を刻む (他動詞)
ワ	wa	～して
シippo	sippo	塩
オマレ	omare	～を～に入れる (複他動詞)
イペ	ipe	食事する
アン	=an	私たち (が、の)

Lesson49 類似のアイヌ料理のはなし②の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	
ヤマウ	yamaw	冷製汁物
アナクネ	anak	は
ヤム	yam	冷たい (自動詞)
オハウ	ohaw	汁物
ネ	ne	～である (他動詞)
コンプ	konpu	昆布
アン	an=	一般的にみんなが
スイエ	suye	～を煮る (他動詞)
ワ	wa	～して
ルリヒ	rurihi	～の汁
パクノ	pakno	～まで
アマ	ama	～を置く (他動詞)
イキア	ikia	その
ルル	rur	汁
オッタ	otta < or ta	～ (の中) に
ウオコム	wokom	ワカメ
カイ	kay	も
サッチェブ	satcep	干し魚
シippo	sippo	塩
ポンノ	ponno	少し
エ	e	～を食べる (他動詞)
コ	ko	～すると
ケラン	keran	おいしい (自動詞)
ペ	pe	もの

アイヌ語ラジオ講座 ポッドキャスト

- アイヌ語ラジオ講座では、これまで放送してきた音声とテキストをダウンロードして、いつでもどこでも気軽にお楽しみいただけます。

ダウンロードはこちら

⇒ <https://www.stv.jp/radio/ainugo/index.html>

テキストはこちらからもダウンロードできます

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/radio.html

【 注 意 事 項 】

- 平成 10 年度～平成 11 年度 Vol.1-3 の音声は公開されておりません。何卒ご了承ください。
- 当テキストデータ及び音声データについて、他のウェブサイトへアップロードする等の利用行為及び営利目的に関わるすべての行為はお控えください。
- 著作権等に関する法令に遵守し、適切な範囲での利用をお願いします。

アイヌ語ラジオ講座 ウェブアンケート

- アイヌ語ラジオ講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化にまつわるお話等を放送しております。この講座のあり方や放送内容などを検討していくにあたり、皆さまのご意見やご感想をお寄せください。なお、いただいたご意見は番組制作の参考以外に利用しません。

アンケートはこちらから

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/details/web.html

- 「アイヌ語ラジオ講座 CD 等の貸出」及び「郵送アンケート」の実施について令和 5 年 3 月 31 日を持ちまして終了しました。引き続き上記ポッドキャストやウェブアンケートを実施してまいりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

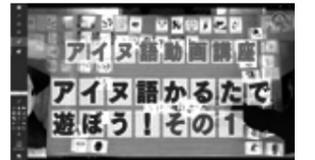
アイヌ民族文化財団 アイヌ語関連事業

- 公益財団法人アイヌ民族文化財団は、アイヌ語やアイヌ文化の振興を図る事業、アイヌの伝統等に関する普及啓発事業等を実施しています。

アイヌ語に関するコンテンツ

◆アイヌ語動画講座

多くの皆さんに「楽しみながらアイヌ語を学んでいただきたい」「もっとアイヌ文化のことを知ってもらいたい」というコンセプトのもと、初心者向けのアイヌ語講座を動画で配信しています。



◆オルシペ・スウォプ

アイヌの口承文芸（お話など）の語り（アイヌ語と日本語訳）及び字幕（アイヌ語、日本語訳、多言語訳）をつけたアニメーション映像を公開しています。



◆アイヌ語弁論大会 イタカンロー

アイヌ語を学ぶ方々の成果発表の場であるとともに、ご来場いただいた方々を含め、「みなさんでアイヌ語を楽しみましょう」というコンセプトの大会です。大会の様子をおさめた動画が、アイヌ語ポータルサイト内にてご覧いただけます。

アイヌ語ポータルサイト

上記を含むさまざまなアイヌ語に関するコンテンツをまとめたサイトがあります。

詳しくはこちら

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/index.html





先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館

体験型フィールドミュージアム

国立アイヌ民族博物館

見るだけでは終わらない
新しい発見がここにある。

国立民族共生公園

自然の中で培われてきた
先住民族アイヌの文化を五感で感じる。



アイヌ民族の視点で語る「6つのテーマ」に沿った展示等
多彩な展示方法でわかりやすく紹介します。



●私たちのことば
アイヌ語のしくみやアイヌ語由来の地名などについて、音声や映像を交えて紹介します。



●私たちの歴史
現代に続くアイヌの歴史のひろがりや連なりを視覚的にわかりやすく紹介します。



●私たちの世界
儀礼に使われる道具などを通じて、カムイ(神)の考えかた、自然観などについて紹介します。



●私たちのしごと
狩猟、漁ろう、採集、農耕といった伝統的な生業のほか、現代のアイヌ民族の多様な仕事を紹介します。



●私たちの暮らし
衣食住、人の一生、音楽や舞踊など、アイヌ文化の特色や地域差を紹介します。



●私たちの交流
交易品を通して、様々な文化や民族との交流をたどっていくとともに、民族共生のありかたを伝えます。



有料エリア 国立アイヌ民族博物館

①体験交流ホール
重要無形民俗文化財指定の「アイヌ古式舞踊」やムックリ演奏をはじめとして、ユネスコ無形文化遺産にも登録されているアイヌの伝統芸能を上演します。

②工房
スタッフによる実演が行われ、長く受け継がれている技術を間近に見学できるほか、木彫や刺繍の体験もできます。

③いざないの回廊
④歓迎の広場
⑤エントランス棟
木々や動物が描かれた回廊を抜けると大きな広場がお迎え。北海道のお土産などが揃うショップ、アイヌの食文化を楽しめるレストランやフードコートもあります。

⑥体験学習館
教育旅行等の体験活動や、楽器演奏の体験、調理体験等ができる施設です。

⑦伝統的コタン
アイヌの昔のチセ(家屋)が再現され、生活空間を体感できるエリアです。室内の見学のほか、アイヌの暮らしや文化について解説するプログラム等を実施します。

⑧チキサニ広場
伝統的な衣装や踊りで歓迎するおもてなしの広場です。アイヌ古式舞踊やムックリの演奏などの伝統芸能を楽しめます。

ウポポイPRキャラクター
トレッポん

■入場料

入場料	税込価格
大人(一般)	1,200円
大人(団体)	960円
高校生(一般)	600円
高校生(団体)	480円
中学生以下	無料

※団体(20名以上)

■所在地

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3
開園情報・最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。



公式ウェブサイト



公式Facebook

■アクセス



会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

当財団は国及び北海道からの財政的な支援をいただいで運営しておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくために運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。

つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

<年会費>

◆法人・団体／一口2万円 ◆個人／一口5千円 ※各一口以上です。

<会員の特典>

◆民族共生象徴空間(ウポポイ)入場優待券を配布しております。

◆アイヌ民族文化財団発行の刊行物等の配布をしております。

(民族共生象徴空間運営事業の刊行物等は含まれません)

※入会には申込書が必要となりますので、希望される方は、アイヌ民族文化財団事務局(札幌)にお問い合わせ下さい。

申込書はホームページからもダウンロードできます。

https://www.ff-ainu.or.jp/web/overview/details/post_9.html



<会費の用途>

◆アイヌ文化の普及啓発、情報発信がより促進されるよう、自主事業の充実のために充てられます。

*寄付金税額控除について

当財団は、平成25年12月に国から「税額控除に係る証明書」の交付を受けておりますので、所得税を納付している場合、確定申告に必要な書類を添付することで、所得税や住民税から一定額が控除されます。

令和6年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.4

発行年月 令和6年12月

編集・発行 公益財団法人アイヌ民族文化財団